





事業番号	16 01 04	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	登山者の安全確保事業	部局	警察本部	課・室	地域部
		実施期間	S29 ~	E-mail	police-kaikai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 長野県内を訪れる登山者に対して、県警山岳遭難救助隊及び各警察署山岳高原パトロール隊、各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。	
	【これまでの取組】 ・登山口における「タブレット端末」及び「信州山カード」を活用した登山者指導 ・山小屋で県警山岳遭難救助隊員による短時間安全講話を実施し、聴講者に「オリジナルステッカー」を配布するなど、安全登山の意識を醸成 ・県警山岳遭難救助隊が監修の「安全登山啓発用DVD」を県内外の主要登山用品店及び県内の山小屋に配布し、より多くの登山者に対する安全登山啓発を実施	
令和2年度点検結果 現状分析	課 題	今後の方向性
	・新型コロナウイルス感染症の影響により山岳遭難件数が例年より減少傾向にあったなか、夏以降増加し、10月末時点で171件発生している。 ・遭難者の安全及び救助隊員の二重遭難防止を確保するために必要な救助装備品の整備。 ・より効果的な遭難防止を推進するため、警察による対策のみならず、県観光部山岳高原観光課との更なる連携強化が必要。	・安全かつ迅速な救助活動を実施するため、必要な装備資機材を整備するとともに、新たな装備品の使用方法に係る講習等に参加し、最新技術の習得を行う。 ・県観光部山岳高原観光課と「信州山カード」等を活用し、より効果的な登山者指導を実施するとともに、同課が主催する登山安全講習に講師として参加し、山岳遭難防止啓発を行う。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	●山岳パトロール等による登山者に対する安全指導 県警山岳遭難救助隊及び県警山岳高原パトロール隊が、大型連休時に登山口等において、タブレット端末等を活用し、登山者指導及び常駐、山岳パトロール等を実施。(県山岳高原観光課と連携して実施)	 
	●山岳高原パトロール隊による救助訓練 山菜・きのこ採りシーズン前に県警山岳遭難救助隊指導による救助訓練を実施。(年2回実施)	 
	●各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員と連携した救助訓練 県警山岳遭難救助隊員及び各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員との救助技術研修会、救急法研修会を実施。(年3回実施)	
		登山者に対する安全指導
		山岳高原パトロール隊による救助訓練

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。						予算額	0	12,782	15,415	要求 12,283 予算案 —
2											
3											
4											
5											
							合計(A)	12,782	15,415	要求 12,283 予算案 —	
							うち一般財源	8,135	11,547	要求 8,701 予算案 —	
							決算額(B)	12,193			
							職員数(人)	—	—	—	
成果指標設定理由	長野県内を訪れる登山者の安全を確保するため、遭難救助に関わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図り、遭難救助及び遭難防止対策を強化する必要がある。										

事業番号 16 01 04 **事業改善シート（令和3年度実施事業分）** ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検

事業名	登山者の安全確保事業	部局	警察本部	課・室	地域部
-----	------------	----	------	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	山岳遭難救助活動経費	12,782 千円	15,415 千円	要求 12,283 予算案 - 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	山岳遭難救助活動経費	直接負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス等主要山岳地帯での常駐パトロール、遭難防止啓発活動の強化等 ・県警救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品の整備 ・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関わる経費、救助装備品の購入経費等の負担金